

厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)
分担研究報告書

施設の緩和ケア提供体制の評価に関する研究

研究分担者

加藤 雅志 国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援部 部長
中澤 葉宇子 国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援部 研究員

研究要旨 本研究の目的は、全国の病院の緩和ケアの取り組み状況を明らかにするとともに、都道府県別・施設種別による取り組み状況の違いを明らかにする。調査方法は、2017年10月現在、全国の地方厚生局に届出されている病院リストに掲載された全病院を対象に、各施設の施設長・緩和ケア担当者宛の2種類の質問紙調査を実施した。なお、本年度は、がん診療連携拠点病院（以下、拠点病院と示す。）を対象とした。

調査結果は現在集計中である。

A. 研究目的

わが国では、これまでがん対策として「緩和ケアの推進」が進められ、全国で様々な施策は実施されてきた。先行研究「がん対策における緩和ケアの評価に関する研究，研究代表者：加藤雅志（H25-H26）」では、2015年に医師・看護師の緩和ケアに関する全国調査を実施し、2008年からの変化を明らかにした。一方で調査により、拠点病院以外の医師・看護師の緩和ケア知識・実践は十分ではないことが示された。

しかしながら、拠点病院以外の施設の緩和ケアの取り組み状況に関する課題を明らかにするとともに、都道府県別の施設の取り組みの状況を明らかにすることが課題となっている。

本研究の目的は、施設の全国調査を行うことによって、全国の緩和ケアの取り組み状況を把握するとともに、都道府県別・施設種別による取り組み状況の違いを明らかにする。

なお、本年度は拠点病院を対象に調査を実施した。

B. 研究方法

1) 調査方法

本研究は、匿名自記式質問紙調査票を用いた観察研究である。

2) 調査期間

平成30年3月

3) 調査対象

調査対象は、平成29年度時点の全国の拠点病院434施設の 施設長・緩和ケア担当者である。

4) 調査項目

調査項目は以下のとおりである。

施設長 調査項目

施設の構造：

都道府県名・施設種別・病床数・年間がん患者診療数・年間がん患者死亡者数。緩和ケアチームの有無・緩和ケアチームの診療件数・緩和ケアチームのメンバー構成・緩和ケア病棟の有無・緩和ケア外来の有無

病院としてがん診療に取り組む体制について
病院として緩和ケアに取り組む体制について
緩和ケアの地域連携について

緩和ケア担当者 調査項目

都道府県名・施設種別・回答者の臨床経験年数・緩和ケアチームの有無

施設の緩和ケアの提供体制について
多職種による緩和ケアの提供体制について
緩和ケアチームの活動について
施設内の緩和ケアに関する診療状況について

(倫理的配慮)

本研究は、医療者を対象とする調査であり、国立がん研究センターの研究倫理審査の対象外ではあるが、疫学研究に関する倫理指針に従い調査を実施した。

C. 研究結果

現在、集計中である。

D. 考察

なし

E. 結論

なし

F．研究発表

なし

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G．知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし